



夢の本棚

発行所：松居直コレクション
プロジェクト
代 表：金戸 美紀予
事務局：石川県小松市
小馬出町10-3
空とこども絵本館
☎ 0761-23-0033
bookrin@city.komatsu.lg.jp



【活動方針】①絵本の楽しさを伝える <親子読書の奨励> ②絵本の歴史を学び、進むべき方向を考える <絵本文化の研究>
③市が所有する知的財産として、次世代に正しく伝える <絵本文化の継承>

声の文化と絵本 ①

親を育てる 子どもを育てる



★今回より、2012
(平成24)年10月8日、
絵本館ホール十九番館
(現・夢の本棚)で行
われた松居直講演会
「声の文化と絵本」親
を育てる 子どもを育
てる」より抜粋して
お届けします★講演会
を始めるにあたって、
空とこども絵本館の尾
木沢響子館長が「開会
の挨拶」で、松居直氏
の3人の子息を紹介
されていますので、ま
ず、その一部を掲載し
ます。

長男の「友」さん

◆松居先生は、3人のお子さんをお持ちでいらっしゃると思います。ご長男の「友」さんが、フィリピンのミンダナオ島に在住で、子どもたちに読書や図書館を作る(2001年にミンダナオ子ども図書館を設立)という運動を進め、

次男の「和」さん

◆ご次男の「和」さんは、小松市に一番馴染みのある方かもしれませぬ。教育評論(『子育てのゆくえ』エッセイ)研究所1993年刊・『なぜわたしたちは0歳児を授かるのか』国書刊行会2009年刊等)をはじめ

長女の「さち」さん

◆長女の「さち」さんは、「小風さち」というお名前です『わにわにシリーズ』の絵本作家として有名な方です。『トン・ウーとはち』をはじめ、いろんな絵本をたくさん書いていらっしゃると思います◆私は『はしれ、きかんしゃ』

からあし』というのがたいへん好きで、実はこのモデルが松居先生だろうというふうに伺ったのです。ぜひお読みください。

絵本館へ渾身のアドバイス

◆こうした3人のお子さんを中心に、本を読みながら、絵本を読むこと、つなげる時間”



を持つていらしたのが松居先生です◆絵本館も今年で6年目になりまして、何が絵本館にとって良いことになるのか、私は未だ何もわかっていないまま携わらせていただいています、松居先生とお目にかかってからは、先生が「こうしたらいいですよ」とおっしゃったこととは無条件にやることに決めて参りました◆やりながら考えて、「ああ、なるほど、そうだったのか」と、分かんなくともとにかく言われたことをやってみるとい

うことで、結果として絵本館を皆さんが大事に思ってくださいるのは、やはり松居先生に教えていただいたことやお声をかけてくださったことが、スタッフ全体に浸透をしているのかなと考えております。

アジアの絵本の父

◆数年前に、中国では「絵本の父」(図書館の父)とか「アジアの絵本の父」であるとか、いろんな名称で呼ばれていらっしゃる先生です◆今日はご自身の体験を交えながら、「声の文化と絵本」という演題ですから、どうやって親と子が1冊の絵本というのを伺えるのではないかと、思います。どうぞ最後まで、楽しくお聞きいただければと思います。(つづく)

